

報告事項

文化センター圏域自主防災連絡会活動について

1 文化センター圏域自主防災連絡会概要

市内11箇所の文化センター圏域毎に自主防災連絡会を創設し、府中市内全ての自治会・町会・管理組合を対象に、圏域毎の地域特性等に合わせた防災活動を展開することで、市民が自ら主体的に「災害に強いまち」を作り上げる活動につなげることを目的として、平成28年6月に創設。

2 平成28年度の主な活動内容

(1) 11文化センターで3回の連絡会を開催

- 参加団体数 延べ527団体 参加者数 延べ797人

ア 第1回連絡会

府中市で起こりうる災害や防災に関する基礎的な知識について学び、アイスブレイクと地域の良いところ・悪いところについて整理するワークショップを実施した。



イ 第2回連絡会

防災の視点から考える安全・危険な場所や物について地図上に整理し、強み・弱みを3つの視点（まち・ひと・防災活動）から地図上に整理するワークショップを実施した。



ウ 第3回連絡会

圏域全体の防災対策上の強み・弱みを共有し、地図上で整理。また、災害対応に必要な行動について、自治会・町会毎に「できない」行動を洗い出し、グループ毎にその理由を検討し、課題を明確にするワークショップを実施した。



(2) 市民協働実感イベント「災害に強いまちをつくろう」

平成29年3月26日(日)にルミエール府中にて、住民主体の防災まちづくり事業を広く周知すると共に、住民自身が「災害に強いまちづくり」を自分事として捉えてもらう機会を確保することで、市民の防災意識の向上を図ることを目的として実施した。

- 参加者数 第一部……178人 第二部……159人

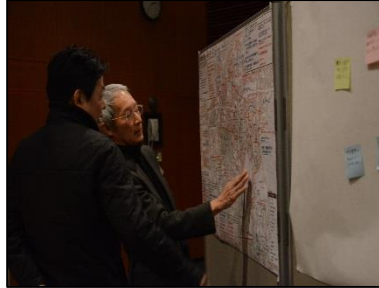
ア 第一部「文化センター圏域自主防災連絡会の取組成果発表」

文化センター圏域自主防災連絡会の取組について、今年度の成果を各圏域の代表者が発表した。



イ 防災上の強み・弱みマップ展示会

文化センター圏域自主防災連絡会で得られた成果物「強み・弱みマップ」をポスター展示し、参加者と連絡会メンバーとの意見交換を行った。



ウ 第二部「女性と男性の視点から考える地域防災」

「減災と男女共同参画研究推進センター」代表の浅野幸子氏を講師としてお招きし、基調講演を行いました。被災地で支援を行った経験などから、多様な主体、多様な人々を地域の防災活動に巻き込まなければいけない、多様な人々を巻き込むための取組について、ご講演いただいた。



3 今後の予定

(1) 平成29年度

平成28年度に明らかにした課題を踏まえて地域の強みを活かした防災対策、また地域の弱みをカバーする、補完するための対策を検討・立案する。他の自治体の先進的な事例も参考にしながら、地域の現状を踏まえて実効性のある防災対策を検討していく。

(2) 平成30年度

平成29年度に各地域で作成した取組計画に基づき、計画した対策を企画・実施する。また、取り組んだ対策の効果を検証し、地域の取組等を見直す。対策の実施を通じて地域課題の解決を図り、新たな問題を発見しながら、地域防災力を継続的に向上させる。